

第12回名古屋工業会大阪支部交流サロンの開催 (Web 講演) 報告

令和4年12月17日(土)に会員相互の親睦と交流を目的に、若手・女性部会主催の「第12回名古屋工業会大阪支部交流サロン (Web 講演)」を開催いたしました。若手現役やシニアも含めた楽しい交流会となりました。

今回は、初参加の3名を含め、名古屋、横浜、石川、博多から参加があり、33名の多数参加となりました。懇親会はございませんでしたが、講演と質疑、懇談で約3時間の賑やかな交流会となりました。

講演タイトルは、『危機管理側面からの震災対応～製造業における熊本地震復興事例』と題して、平野春好(元豊田自動織機)様に、2016年4月16日発生 of 熊本地震における生々しい被害状況と自らの体験談をご紹介頂き、今後予想される南海・東南海地震への教訓と備えについてお話を頂きました。

Web 会議が初めての方には事前に接続テストも実施いたしました。

記：坪田博隆 (M51)

1、震源地益城町は、まるで地獄絵図

2、熊本地震震度7被災後の現地現物写真(2016年6月平野撮影)

①-1 震源地上益城郡益城町



2、名城「熊本城」天守閣の瓦・石垣が落下

2、熊本地震震度7被災後の現地現物写真(現地現物写真、2016年9月平野撮影)

②-4 熊本観光名所「熊本城」



3、二層桜山門式の「阿蘇神社」が倒壊

2、熊本地震震度7被災後の現地現物写真(現地現物写真、2016年10月平野撮影)

②-10 観光名所「阿蘇神社」



5、事務所は2段棚が落下し、机が点灯し足の踏み場もない

2、熊本地震震度7被災後の現地現物写真(現地現物写真、2016年4月平野撮影)

⑤-2 熊本工場(事務所)



4、コンビニには売り物がほとんどないのに長蛇の列

2、熊本地震震度7被災後の現地現物写真(現地現物写真、2016年4月平野撮影)

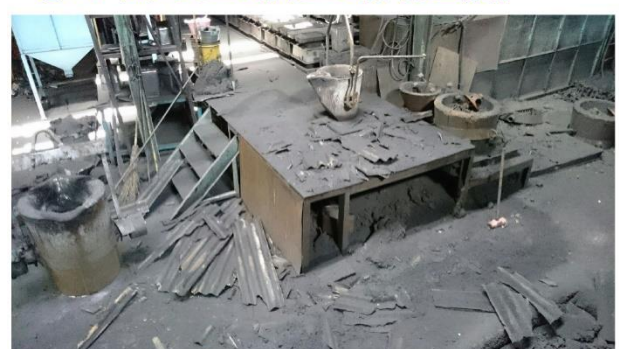
④-8 弊社熊本工場周辺



6、工場内至る所に天井スレートが落下し、足の踏み場もない

2、熊本地震震度7被災後の現地現物写真(現地現物写真、2016年4月平野撮影)

⑤-6 熊本工場(工場内全景)



7、溶湯がそのまま固まった取鍋

2、熊本地震震度7被災後の現地現物写真（現地現物写真、2016年4月平野撮影）

⑤-16 熊本工場（注湯ゾーン）



8、LPGボンベが転倒し、危険極まりない

2、熊本地震震度7被災後の現地現物写真（現地現物写真、2016年4月平野撮影）

⑤-22 熊本工場（LPG置場）



9、タスクチームによる先ずは瓦礫（がれき）の撤去

3、復旧に向けた具体的実施事項（現地現物写真、2016年4月平野撮影）

⑫ T社と協業で復旧活動を実施



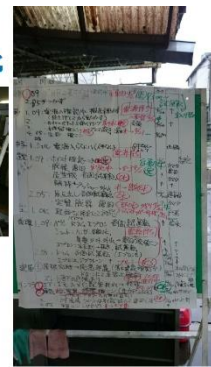
10、1日2回、リーダー一会を実施し「情報の一元化と共有化」

4、生産設備復旧に対する基本的な考え方（現地現物写真、2016年4月平野撮影）

②情報の一元化、見える化



情報の共有化が大切。
毎日2回（10:00、15:00）リーダー会、
設備ごとに結果フォローと、
実施事項をその場で即決即断し、
掲示して見える化する



11、誰が、いつ、何をするのかを「見える化」する 12、震災から僅か12日後に火入れ式を執り行う

4、生産設備復旧に対する基本的な考え方（現地現物写真、2016年4月平野撮影）

④情報の一元化、見える化、不協和音の防止



5、その他復旧に関する報告事項（現地現物写真、2016年4月平野撮影）

① 4月28日復旧完了



13、応援「書」や海を越えて応援俳句とオレンジの陣中見舞い

5、その他復旧に関する報告事項（現地現物写真、2016年5月平野撮影）

⑩精神的応援・心の支え



14、知人がチャリティーコンサートを企画

5、その他復旧に関する報告事項（現地現物写真、2016年9月撮影）

⑪自分の立ち位置で何ができるか？



15、コンサートにて熊本地震の恐怖体験談を話す筆者

5、その他復旧に関する報告事項（現地現物写真、2016年9月撮影）

⑮自分の立ち位置で何ができるか？



16、募金の使用用途を明確にした募金箱

5、その他復旧に関する報告事項（現地現物写真、2016年9月平野撮影）

⑯自分の立ち位置で何ができるか？



17、震源地の益城町長に義援金を渡す

5、その他復旧に関する報告事項（現地現物写真、2016年9月撮影）

⑰自分の立ち位置で何ができるか？



18、お世話になったT社へせめてものお礼として、寄せ書きとオリジナルくまもん録物を贈った

ありがとうございました

T社はじめ支援して下さいました皆様方、
我々はこのご恩を一生忘れません



結び

天災は、忘れた頃にやってくる。第二の関東大震災、または南海トラフを震源とする中部巨大地震と津波に備える必要があると思います。この時、平常時に机上で考えた対策は役に立たないことは知っておくべきです。

ものづくりを整齊と良い流れで生産している時とは違う全く別の次元の戦略が必要となります。ダーウィンの言葉を私流に解釈すると、「最も強い会社が生き残るのではなく、最も賢い会社が生き延びる訳でもなく、唯一生き残るのは、エマージェンシーに対してフレキシブルに対応できる会社である。」

私の座右の銘は、「知行合一」で、「知って行わざれば、之れ未だ知らざるなり」です。どんなに理論が素晴らしいとしても、重要な事は信念をもって実践をすること。信念無くして、立派な結果が出ることは無いと思います。そのため、「ああだこうだと言う前に、先ずやってみる、直ぐやる、きっちり正確にやる、やり切る」ということを私自身はものづくりの信念として守っています。

関東・中部・関西地区の皆様へ、今回の熊本地震を他山の石として下さい。南海トラフを震源とする、巨大地震と津波に備える必要があります。前述した対策項目がこれから講じる地震対策に少しでもお役に立てば幸甚至極です。

監修：平野春好（K50）